

韓国江原道との 児童生徒交流事業(派遣)

平成24年 9月11日(火)~14日(金)

本事業における今年度の鳥取県児童生徒交流団25名(小学生6名、中学生・高校生各7名、団長、引率教諭2名、通訳1名、事務局1名)が、平成24年9月11日(火)から14日(金)までの4日間、国際感覚の豊かな児童生徒の育成を図ることを目的として韓国江原道を訪れました。朴(パク)教育局長への表敬訪問の他、マンデ初等学校、チャンジョン中学校、江原大学校師範大学附設高等学校を訪れたり、ホームステイを行ったりする中で児童・生徒との交流を通じて相互理解を深めるとともに、原州和紙博物館、国立春川博物館、春川アニメーション博物館等を訪問し、学校以外の文化観光施設も見学し、韓国文化の一端に触れることのできた有意義な訪問になりました。



問合せ先 県教委小中学校課 電話 0857(26)7935

環 日 本 海 交 流

PTA交流 ~江原道PTA関係者来県~

平成24年 10月9日(火)~12日(金)

江原道の保護者団体等の役員計9名が小・中・高等学校等を訪問するとともに、県内のPTA団体と、子どもの健全育成に向けた保護者の役割などについて意見交換を行いました。

(訪問先:岩美町立岩美中学校・県立鳥取西高等学校
山陰海岸学習館・琴浦町立以西小学校)

◆PTA団体との意見交換会



日韓両国が家庭や地域に同様の課題を抱えていることを再確認するとともに、本県のPTA団体にとっては、江原道の保護者の「食糧教育」などの取組を知り、今後につながる良い刺激となりました。

◆岩美中学校を訪問



子どもたちが最新の情報機器を活用しながら学んでいる理科の授業などを視察しました。

◆以西小学校を訪問

はじめに地域のみなさんと子どもたちが以西踊りで歓迎しました。訪問団の方が子どもたちから日本の遊びを習う場面もありました。



問合せ先 県教委家庭・地域教育課 電話 0857(26)7521

韓国江原道との 教員交流事業(来県)

平成24年 6月17日(日)~22日(金)

江原道教員交流団10名(小学校2名、中学校1名、高校5名、特別支援学校1名、教育庁1名)が6月17日(日)から22日(金)までの6日間鳥取県を訪問しました。訪問期間中は、教育長への表敬訪問の他、若桜学園、倉吉市立東中学校、米子工業高等学校への訪問を行い、教員や児童・生徒との交流を通じて相互理解を深めました。

また、鳥取県立図書館、鳥取県立博物館、むきばんだ史跡公園及び大山青年の家など、学校以外の教育機関の状況も知っていただきました。

また、鳥取県教育委員会事務局や各校での意見交換会において、学力向上への方策、生徒指導の状況、PTA活動などについて意見交換を行い、お互いが爽やかな時間を過ごしました。



問合せ先 県教委高等学校課 電話 0857(26)7786

高校生が「まんが王国とっとり」を応援!

「まんが王国とっとり」を応援するため、県内高等学校の漫画研究部の生徒を中心として、まんがに興味のある生徒による「高校生まんが王国とっとり応援団」を結成し、様々な活動をしています。



応援団発足



5月に発足式を行いました。現在、全県で14校209名のメンバーが参加しています。

交流会 ワークショップ

今年度、計3日間にわたって、著名人との交流会・ワークショップを行いました。
まんがの描き方ワークショップ 講師:鳥取砂丘先生(鳥取県出身漫画家)
著名人との交流会 安彦良和先生・竹宮恵子先生・株式会社BANDAI



BANDAIの技術者の話を聞き、将来を考える良い機会をもちました。



安彦良和先生の講演では、「夢をあきらめない?」をテーマに、人生の教訓となるメッセージをいただきました。また、高校生のイラストへのアドバイスもいただきました。

とりコレ

応援団が執筆した作品を集めた、合同作品集を制作しました。タイトルは鳥取県の様々な魅力を集めたという意味で「とっとりコレクション」略して「とりコレ」としました。全県の県立・市町村立図書館や学校図書館に置いてありますので、是非読んでみてください。



『歴史・神話編』と『観光・食編』の2冊を刊行しました。応援団のメンバーがテーマに沿って、自分たちで考えて作品を執筆しました。

県内中高生と龍谷大学との連携



県内からもたくさんの高校生が進学している龍谷大学と県内中高生による演奏会を開催しました。昨年度に引き続き2回目の今回は、「まんが王国とっとり」にちなみ、アニメソング中心のプログラムでした。

問合せ先 県教委高等学校課 電話 0857(26)7917

学びを拓く! ~様々な人との豊かなつながりを~

伯耆町立二部小学校の取組

二部小学校は、価値ある体験や様々な人との出会いを通して、自分たちの生活をよりよいものにしていく意欲や態度を身に付けた子どもを育てたいという考えのもとに人権教育に取り組んでいます。

特に大切にしていることは、日々の「学び」を学級・学校の外に拓き、様々な人とつながる体験です。子ども達は、「しいたけ栽培」「すらすら音読」「クラブ活動」「自由研究発表会」等の、地域の方との世代を超えたつながり合いを通して、周りの人に支えられて生きていくことに気づき、地域の方に感謝の気持ちや伝えたり、地域のおよさを伝えたりするようになってきました。

また、「ふるさと二部の一員として、自分たちから地域を元気にしたい」と、登下校の際に地域の方へ積極的にあいさつをする「あいさつヤッパ運動」(児童会主催)にも取り組み始めています。

◎いろいろな人の前で大きな声で読められた。◎地域の方が「感動しました。」と言ってくれたので、すこううれしかった。

鳥取県では、様々な人と豊かにつながり、共に生きる姿をめざし、様々な活動を通して人権教育に取り組んでいます。今回は、地域と連携しながら、人権が尊重される学校づくり、地域づくりの担い手の育成に力を入れている伯耆町立二部小学校の取組を紹介します。

しいたけ栽培 しいたけを久々に学ぶ



ほど木診断

◎50年もつっておられてすごいです。◎しいたけが好きになりました。◎今度は、二部のふるさと小包をつくってみたいです。

つくったしいたけを他の小学校の人にも食べてもらえると嬉しいです。おいしいご飯やお汁を作ってください。

うれしいことにこれらの取組への地域の方の参画も年々広がってきています。また、子ども達からは取組に対する達成感とともに、今後もよりよい学校、地域をつくっていかうとする意欲や自信が感じられるようになってきました。



伯耆町給食センターへ贈呈

問合せ先 県教委人権教育課 電話 0857(26)7535

中部版スクラム教育

中部教育局では、中部5市町教育委員会とチームを作り、各学校での学級経営の充実及び確かな学力の向上を目指した取組を進めています。



1 学力向上に関する研修会

~中部地区の課題を知り、各学校における確かな学力向上を目指して~

◆実践発表
「学力向上につながる学習指導と学力分析、研究推進体制づくり」

◆学力テストについて
分析方法の提案

2 学級集団づくりに関する研修会

~学力向上の土台となる児童生徒のよりよい学級集団づくりを目指して~



3 各市町教育委員会との連携

市町教育委員会と各事業について成果の確認や方策の見直し等を定期的に行い、学校の取組への支援につなげています。

問合せ先 県教委中部教育局 電話 0858(23)3251

3D映像 「大地と海の物語」公開中

山陰海岸学習館では、山陰海岸ジオパークの魅力を紹介する3D映像「大地と海の物語」を1月14日から上映しています。3D映像ならではの臨場感あふれる山陰海岸ジオパークの世界を体験してみませんか。

「大地と海の物語」とは?

山陰海岸ジオパークにはさまざまな物語が秘められています。広大な鳥取砂丘をつくる小さな砂の物語、浦富海岸の複雑な海岸線に隠された物語、そして海の中でくり広げられる生きものたちの物語。



空からの映像や海中映像、さらにはCGなどによる多彩な映像で、大地と海が織りなす雄大なジオパークの世界を紹介しています。

山陰海岸ジオパーク3D映像 「大地と海の物語」定期上映開始時刻

(※1回の定員は50名、整理券にて先着順、観覧無料)
●土・日・祝日、ゴールデンウィーク、夏休み期間中
①10時~ ②11時~ ③13時~ ④14時~
⑤15時~ ⑥16時~
●上記以外の平日
①11時~ ②14時~ (左記以外の時間帯では依頼に応じて団体向けに上映します。)

※入館は無料です。

お問い合わせ

鳥取県立博物館付属
山陰海岸学習館
岩美郡岩美町牧谷1794-4
電話 0857-73-1445